

9/12(水)相手意識のある読み聞かせ



朝の活動の時間に、姉妹読書が行われました。昨日の給食時に連絡してくれた、図書委員長の言葉に、嬉しそうな表情を見せた低学年のみなさん。高学年のみなさんは、「ちょっとドキドキするなあ」「低学年のお友達は、楽しんでくれるかな？」という思いをもったことと思います。

お話を聞いてくれるペアの友達の笑顔をイメージしながら、図書館の本を借りた高学年のみなさん。いよいよ読み聞かせのスタートです。

一冊の本を二人で見つめる姿。一言一言じっくりとていねいに文章を読む高学年の姿。じっと耳を澄ませながらお話の世界に浸りこむ低学年の姿。どちらも、とっても素敵な姿でした。

今回の読み聞かせを通して、「相手の友達が楽しんでくれるためには、どんなことが大切なのかを考えること」「自分のために、本を選んでくれた嬉しさを感じる」「同じ本を、同じ時に読み、同じ楽しさを共有すること」「読み終わった後の充実感をいっしょに感じること」など、一人きりでは決してできないことが、貴重な体験として味わえたと思います。

今後、縦割りグループが発足され、いろんな学年の友達とかがわる機会がますます増えていきます。異学年の交流を通して、「相手の気持ちを考えながら行動する心」が今よりも豊かになっていくことを期待しています！